

復活節第6主日 2022年5月22日

<特 植>

全能の神よ、罪人の制御できない心を治められる方はあなたの方にあります。どうかわたしたちに、主の戒めを喜び、主の約束を慕う恵みを与え、移り変わりの多いこの世において、常に心を変わることのない喜びに置くことができますように、主イエス・キリストによってお願ひいたします。アーメン

<聖 書>

ヨハネによる福音書 14：23～29

<メッセージ> 主の平和に満たされて

父と子と聖霊のみ名によって アーメン

この時期、陰暦からしますと、「小満」小さく満ちると書きます。意味は、草木が茂って天地に満ち始める季節。確かに緑が濃くなっていく季節です。

私は、「小満」の季節は、「身も心を少しずつ満たされる季節がやってくる」と言う意味かと勝手に解釈しています。

聖公会の教会の暦からしますと、私たちは復活節を歩んでいます。その復活節も終わりに近づき、主の昇天の日・昇天日と聖霊降臨の祝日を迎えようとしています。そのこともあるのでしょうか、今日の福音は、目に見えない神の力・聖霊を通して、主イエスが共にいてくださるという新たな現臨を、祝い喜ぶように私たちを導いています。聖霊によって私たちの身も心も満たされるように、導かれる季節が近づいています。

ヨハネ14：23 「私を愛する人は、私の言葉を守る。私の父はその人を愛され、父と私はその人のところに行き、一緒に住む。」

主イエスを愛し、慕い求め、主イエスのことばを守ることは、主イエスのまことの弟子であることの証拠・しるしです。同時に、このことによって神さまはその人を愛し、神さまと主イエスの方から、その人のところに近づき、その人の内に住んで下さると言うのです。

ヨハネ14：6で主イエスは言われました。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことはできない。」主イエスと共に道を歩めと言われましたが、今日の福音では、主イエスだけではなく神さまも、近づいて来てくださり、私たちの内に住んで下さり、いのちを与えてくださるというのです。私たちも主イエスに近づきたいと願う。同時に主イエスの方から近づいて来てくださっているのです。

そして、ヨハネ14：25、主イエスが共にいてくださる・主イエスの現臨は、新たな姿を取ると主イエスは言われます。それは、人の目には見えないけれども確かに与えられる神の力・聖霊という姿で、私たちと共にいてくださると言うのです。

私たちが、聖霊の働きを信頼し、主イエスのみ言葉と親しく歩む時、神の力・聖霊が働き、必要なことを教え、大切な主イエスのことばを思い起こさせてくださいます。先主日の福音もそうでしたが、この後、主イエスは十字架の道を歩んで行かれます。ヨハネ13・14章の一連の主イエスのことばは、主イエスの「遺言」ともいえることばです。私たちが生きる上で、大切なことを遺言として残してくださっています。

本日の福音の中での主イエスの遺言は、「平和の賜物」のことです。

ヨハネ14：27 「私は平和をあなたがたに残し、私の平和を与える。私はこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。」ヘブライ語ではシャロームです。良い状態、健やかであること、いのち、調和、平安、そして、平和を意味します。ギリシャ語ではエイレネーです。平和の意味ですが、バラバラになっているもの、別れ別れになっているものが、再びむすびつくそういう意味をもっています。ここで主イエスの口から語られた「平和」とは、傷つき傷んでいないのちが弟子たち、私たちに生き

渡るようにと言う願いが込められています。

世が与える平和とは違うと主イエスは言われます。今、ロシアの理不尽なウクライナ侵攻を受けて、平和が祈り求められています。政治家の声は、敵地攻撃能力を持つ、核共有を議論しろ、防衛費を増大せよ、憲法9条を改正すべき、早急に答え出そうとしています。この世の平和は、平和・平和といいながら、戦争のほうに滑っていく危険性を私は感じます。

題名を忘れてしまったのですが、ある絵本にこのようなやりとがありました。

「戦争はなぜ起きるの。」「人間が愚かだからだよ」「どうしたら愚かじやなくなるの」「ちゃんと考え方だよ」　日本の政治家は早押しボタンを、連打しているようです。

「剣を取る者は剣で滅びる」、「汝の敵を愛せよ。」それが主イエスの教えです。「戦争はいけない。」非戦、不戦が主イエスを信じる者の立つところです。

私たちは、不安や恐怖にとらわれのではなく、主イエスがくださる平和・シャローム・いのちに生きる者であることを願いましょう。

そして、戦火が一日も早く終わるように、祈り、声を上げて行きましょう。

同時に、歴史や、異なる意見に聴きながら、しっかり世界を見つめましょう。

父と子と聖霊のみ名によって、アーメン

<ウクライナの平和のための祈り>

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。

またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。

明日を恐れるすべての人々に、　あなたの慰めの靈が寄り添ってくださいますように。

平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、　み旨に適う決断へと導かれますように。

そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。

平和の君、主イエス・キリストによってお願ひいたします。　アーメン。

<主の祈り>

主の祈りをご一緒に唱えましょう。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるときおり地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせぬ、

悪からお救いください。

國と力と栄光は、永遠にあなたのものです　アーメン